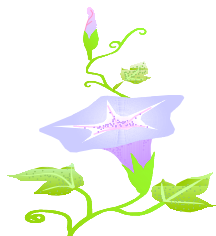


小中一貫教育推進だより

# つながる

平成 24 年 7 月 19 日 No.15

十日町市教育委員会学校教育課



## 一貫した指導の策を

学校教育課小中一貫教育推進係  
嘱託指導主事 平野久美

暑い日が続き、プールで子どもたちの歓声が聞こえる頃となりました。1学期も、残りわずかとなりました。各学校では、夏休みを直前に控え、期末保護者会等、1学期のまとめや夏休みの準備の真っ最中かと思えます。

さて、今年度から、小中一貫教育推進係員も1回目の中学校区計画訪問に随行してもらいました。中学校区という単位で、共通の課題解決のために共に取り組むという仕組みを取り入れて10年近くになります。縁あってスタートの頃の訪問にかかわった私は、今回の訪問で、その頃に比べて、中学校区単位で共に子どもの成長を見ていこうという教職員の意識が格段に高まっていることを改めて実感しました。嬉しいことです。この意識を更に高めながら、一貫教育に生かして欲しいと願っています。

思えば、長い間中学校区内の学校では、互いに密接に連絡を取り合いながら教育活動を進めてきたわけです。しかし、なかなか課題解決がなされないという実態が続いていました。そこで、十日町市では、昨年度から小中一貫教育を手法として取り入れ、試行してきました。「一貫教育」とは、教育の目標や指導の方針等を同じくして教育活動を進めることです。

それでは、どの程度、教育の目標や指導の方針等を同じくして行うのでしょうか。指導計画については、平成23年度十日町市小中一貫教育実施計画の「5 (5)指導計画等の作成」で、全市本格実施の平成26年度当初までに、全ての中学校区で3つの視点で9年間の系統的な指導の計画を完成させるよう示しました。

今年度になってから、このことについていくつかの問い合わせがあり、スタート当初の説明不足を反省しました。そこで、今回の訪問をその説明の機会と考えたのですが、限られた時間内でのこと、説明が不十分であったり説明が出来なかった中学校区があったりと、まだまだご迷惑をおかけしています。そこで、次ページで補足説明をしますので、共通理解のもとでの取組を宜しく願います。

とはいえ、私は、こういった声が出てくるということに、取組の前進を感じます（こちらの説明不足を棚に上げての話になりますが）。なぜかといえば、具体的にどうしたらいいのかという声は、このことと具体的に向き合い、このことにとりかかろうとしたからこそその反応だと思うからです。どんどん声を届けてください。こうしたらどうかという声ももちろん大歓迎です。互いにつながりながら、より充実した取組にしていきたいと思っています。

## 指導計画等の作成について

### <はじめに>

十日町市小中一貫教育基本計画の「Ⅳ 十日町市が進める小中一貫教育」の「3 中学校区の具体的な取組」で、「(1) 教育体制の整備」と「(2) 運営体制の整備」で合わせて8項目の取組を示しています。また、それぞれに「具体的な取組」を例示しています。各小・中学校では、中学校区の実情等に即して効果的なことから取り組むこととしています。十日町市は、中学校区の実情等に合わせた取組を基本にはしていますが、平成23年度十日町市小中一貫教育実施計画では、以下のア～ウの小中一貫した指導の計画、これだけは市内のどの中学校区も作成して進めて欲しいと示しています。

- ア 算数・数学に関する領域別指導内容系統表
- イ 不登校対策等を含めた心の教育に関する指導計画
- ウ 総合的な学習の時間に関する指導計画（重なりや地域素材を考慮したものに）

アは学力の向上、イは不登校の改善、ウはふるさと十日町市を愛する子どもの育成という視点からの設定です。したがって、それに対応する指導の計画だということを理解し、各中学校区の実態に即して作成してください。ここで、確認したいことは、全く今までとは別の指導計画の作成を意味しているのではないということです。これまで各校がそれぞれに、指導計画を見直し改善していた現在の指導計画を、9年間の視点で実態から見直し・改善を図り、重点的取組内容等を確認しつつ共通理解・共通方針のもとで取り組んで欲しいのです。まずは、そこから始めてみてくださいということです。もちろん、実態や機能面から、新たなものを作成する必要があると考えれば作っていただいても構いません。

### <ア 算数・数学に関する領域別指導内容系統表>について

当市で大きな課題ととらえる教科、「算数・数学」については、どの中学校区でも実態分析をし、重点的に取り組む単元や領域を明確にした9年間の指導の計画を持って進めてください。市教育センターが示した系統表を自中学校区化して作成ください。その他の教科を作成する場合、外国語活動や英語については郡市英語・外国語活動部会が今年10月に作成予定の「9年間の外国語活動・英語科の指導系統表」が参考になると思います。次いで課題の大きい「理科」については、今後、市教育センターから領域別重点を明確にしたものを示す予定ですので活用ください。

### <イ 不登校対策等を含めた心の教育に関する指導計画>について

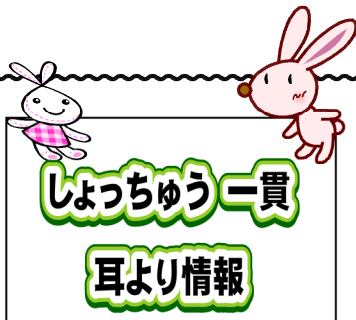
当市の最重要課題である不登校の改善、ここに対応するような小中一貫した指導の計画を持って欲しいという願いです。「不登校対策等を含めた心の教育に関する指導計画」としたのは、心を育てる教育、豊かな人間性、社会性を育成する教育という言葉に置き換えてもらってもいいという思いからです。道徳教育のみでなく、キャリア教育、ソーシャルスキル教育、コミュニケーション能力の育成、人権教育、いじめ防止プログラムの充実、特別活動計画等どのようなものが良いかは中学校区の実態から決定してください。小中一貫して、このことに重点を置いて取り組もうという9年間の指導の計画を1つは持って欲しいということです。

### <ウ 総合的な学習の時間に関する指導計画（重なりや地域素材を考慮したものに）> について

「総合」の指導計画は目標、学習課題・学習対象・学習事項等が各学校に任せられているので、他教科と比べ学校間でばらばらであることが多いです。そこで、7年間の学びの視点で中学校区内の実態に即し、指導計画が発達段階に即しているか、重点的に育てたい力は何か、地域素材を生かしているか、あるいは小学校での学びの履歴をもとにした中学校での指導計画であるか等を互いの指導計画を見合って、見直し改善をしてください。「ふるさと十日町市を愛する子どもの育成」という願いを実現するためにも、7年間で1度も地域素材とかかわることが無かったなどということのないよう見直すことも検討の視点として入れてください。

### <おわりに>

指導計画は作ってからが勝負です。いかにそれをもとに、全職員一丸となって指導していくかが大切です。そうできる指導計画への取組をぜひ工夫してみてください。



### ＜モデル中学校区の取組データ紹介＞

昨年度末にも取組データの紹介をしましたが、訪問で、また新たに紹介したいようなデータがたくさんみつかりました。取組の前進を強く感じます。これまでは「学校間共通」→「H23 文書」→「モデル校紹介データ」でのアクセスでしたが、より分かりやすいように「学校間共通」→「小中一貫教育」→「モデル校紹介データ」としました。忙しい毎日の中、難儀をしながら、力を合わせて生み出してきた貴重なデータです。ぜひアクセスしてデータをご覧ください、各中学校区の取組に生かして欲しいと思います。

### ＜モデル中学校区以外の中学校区の取組＞

モデル中学校区以外の中学校区でも様々な取組が行われています。今回はそのうちの1つを紹介します。

水沢中学校区では、子どもたちの話の聴き方が大きな課題の1つでした。そこで湯沢町教育委員会の種村公夫管理指導主事を講師に招き、話を聴かせるための教師の手立て等について、小中合同で職員の研修会を持ちました。その後、「姿勢を良くする」「目を見て聴く」「目を見て話す」の3点を全教職員で徹底して指導、実践をしました。昨年度の2学期から始めて半年ほどで、成果は確実に見え始めました。今では、ほとんどの子が、しっかりと話者に目を向け、姿勢よく話が聴けるようになりました。この取組事例から、「一事徹底」「全職員の共通姿勢」の効果を学ぶことが出来ます。加えて、「～をやりましょう」だけではなく、「なぜ必要か」「どうやればいいのか」まで共通理解をすることが「共通姿勢」の姿の実現に大きく近づけるものだと感じます。

### ＜参考文献＞

本年6月に、文部科学省、国立教育政策研究所から出された「不登校・長期欠席を減らそうとしている教育委員会に役立つ施策に関する Q & A」は教育委員会のみならず、学校現場でも役に立つ内容だと思います。ここでは、未然防止（健全育成）の大切さが述べられています。どんなことに力を入れるかの参考にしてみてください。



### ＜講演会の詳細が決まりました＞

すでに学校へは案内が届いていると思います。都合をつけて、ぜひお出かけください。

＜日時＞平成24年8月2日(木) 14:00～15:40

＜会場＞千手中央コミュニティセンター 千年の森ホール  
(十日町市水口沢76番地7 電話025-768-2308)

＜講師＞宇都宮市立一条中学校校長 久保 徹 様

＜演題＞「一条中学校区が進めている小中一貫教育について」

### ＜お詫び・・・視察先を変更しました＞

先号でお知らせした先進地視察を、諸般の事情で、栃木県宇都宮市から新潟県三条市に変更いたしました。宇都宮市視察に期待を寄せていた方々、すみません。

この三条市視察の案内も各学校に届いています。期日は8月21日(火)です。詳細は案内文書をご覧ください。



## モデル中学校区8月の活動予定



日時 <内容>	会 場	見 どころ
1日(水) <補習> 8:40～9:30	川西中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年生の数学の補充学習の指導を、小学校職員が中学校職員と協力して行います。7月30日(月)・31日(火)と合わせて3回実施します。</li> </ul>
1日(水) <かけはし講演会> 19:00～20:20	千手中央コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川西中学校区では、教職員、保護者を対象にした子育てについての講演会を開催します。講師は元十日町市教育長の井口カズ子様、演題は「育てるとは共に『ゆめ』を語ること」です。</li> </ul>
6日(月) <特別支援教育研修会> 14:30～16:30	千手中央コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川西中学校区の全職員が参集し、講師を招いて特別支援教育に関する研修会を行います。講師は、上越教育大学の村中智彦講師です。</li> </ul>
1日(水)・2日(木) 8日(水)・10日(金) <保育参観> 8:00～12:00	中里なかよし保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この期日、この時間帯内の、いつでも保育園の参観ができます。中里中学校区の教職員は、自分の都合に合わせて参観します。</li> </ul>
7日(火) <中里中学校区職員研修> 13:30～16:40	中里総合センター 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに、上越教育大学の中野英康特任准教授による「楽しく力のつく国語授業」について講義や演習を行います。その後、研修テーマに即した互いの実践事例を持ち寄り、情報交換を行い、最後に、小中一貫教育の班別会議を行います。</li> </ul>
7日(火) <子育てフォーラム> 19:00～20:30	中里なかよし保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中里地区の保・小・中のPTA関係者が集まり、小出特別支援学校ふれあいの丘分校の堀井利衛子教諭の基調講演の後、子育てや躰について、小グループで座談会を開きます。</li> </ul>
9日(木) <特別支援教育研修会> 9:30～11:00	松代小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松代中学校区の全職員が一堂に会し、市教育センターの白倉節子相談員を講師に、「授業のユニバーサルデザイン化」について研修を行います。</li> </ul>
21日(火) <職員研修> 13:45～15:30	中里総合センター 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中里中学校区生徒指導研修です。市の保健師を招いて、途切れない支援、指導の在り方について、保・小・中の全職員が連携し共に理解を深めます。</li> </ul>
20日(月)・22日(水) <中里中夏休み学習会> 12:45～14:45	中里中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年生の補習に、小学校の教員も参加してサポートし、基礎基本の定着充実を図ります。その後、情報交換会を実施します。</li> </ul>